



かわにし 福祉ひろば



川西
町報
かわにし

2025
12
No1259



やさしさをつなぐボランティア
cover 川西町YYボランティアサークル

70

地域を守る消防団

地域の安全安心を守る消防団。地域住民が団員となって、地域の防災活動を担っています。本号では消防団を特集します。



消防ポンプ操法発表会 有事に備えたポンプ操法の訓練の成果を披露

消防団員のみなさんにインタビュー



地元の方からお誘いいただき
たことが入団のきっかけです。
活動を通して、ポンプの操作
方法等、普段経験できないことを
学ぶことができました。また、
他の団員をはじめ、地域の方との
交流を広げることもできました。
困ったときに助け合える関
係性もできています。消防団活
動は、誰かのために動いている
ようで、自分にも返ってきて
いる感じています。

最近は火災だけではなく、水
害での出動も増えています。記
憶に新しいのは令和4年に発生
した水害です。多くの団員が長
時間出動し、地元の方とも連携
しながら活動していく中で、消
防団の必要性を実感しました。

消防団員のみなさんにインタビュー



特集の動画版は 「かわにし日和」でご覧ください

ケーブルテレビNCVの「Nトピ+プラスNEWS」内の「かわにし日和」で今回の特集の内容について紹介されました。

放送内容は、ケーブルテレビ
番組の配信アプリ「ロコテレ」
でご覧ください。



消防団員募集中

川西町消防団では、新入団員を募集しています。地域の安全安心を守っていくためにもみなさんの力が必要です。消防団は、満18歳以上で、川西町に居住（または勤務・通学）している方なら性別・職業問わざどなたでも入団できます。

消防団に興味がある方や入団を希望される方は、総務課までお問合せください。

問
総務課 防災管財係
☎ 0238(42)6612

災害時も活躍



消防団は、火災時だけではなく、災害時も活動します。令和4年8月に発生した大雨災害では、発生時から5日間にわたり延べ636名の消防団員が出動しました。冠水した場所の排水作業や、土のうの設置、避難への呼びかけ、交通整理、被災した住民の避難などに尽力いただきました。

また、排水ポンプを導入するなど、災害時の対応力を強化する装備も配備されています。

災害時も活躍

消防団は、火災時だけではなく、災害時も活動します。

令和4年8月に発生した大雨災害では、発生時から5日間にわたり延べ636名の消防団員が出動しました。冠水した場所の排水作業や、土のうの設置、避難への呼びかけ、交通整理、被災した住民の避難などに尽力いただきました。

また、排水ポンプを導入するなど、災害時の対応力を強化する装備も配備されています。

消防団の活動は、大きく分けて平時で最も重要な活動は、火事を起さないための火災予防広報です。消防団車両に乗り、地域を巡回しながら火事を起さないよう町民に呼びかけます。また多くの人が集まる商業施設で啓発活動を行ったりもしています。

他にも、火災現場ですぐに活動で起きるよう、さまざまな点検や訓練を実施しています。消防団車両や消防ポンプ類の点検、消火栓や防火水槽の確認は、日常的な消防団の活動です。春と秋に行う消防演習も、いざ

現在本町では、423名が団員として所属し、各地域を所管する分団・部・班に分かれて活動しています。訓練に出動した際の出動手当などが支給されます。退団した際には、勤続年数により退職報償金が支給されます。

消防団は、消防組織法に基づき、市町村に設置される消防機関です。団員は非常勤特別職の地方公務員となり、さまざまな消防活動にあたります。また、年額報酬や災害活動・訓練に出動した際の出動手当などが支給されます。退団した際には、勤続年数により退職報償金が支給されます。

◆消防団って何?

消防団は、消防組織法に基づき、市町村に設置される消防機関です。

団員は非常勤特別職の地方公務員となり、さまざまな消防活動にあたります。また、年額報酬や災害活動・訓練に出動した際の出動手当などが支給されます。退団した際には、勤続年数により退職報償金が支給されます。

地域福祉の担い手 民生委員・児童委員

～支え合う 住みよい社会 地域から～

問福祉介護課 ☎ 0238(42)6635



町の地域福祉を支える民生委員・児童委員55名の方が決まり、12月1日(月)に辞令交付式を行いました。任期は令和7年12月1日～令和10年11月30日までです。

民生委員・児童委員のみなさんは、今後3年間それぞれの担当区域ごとに、次の活動を行います。P6～7では55名の民生委員・児童委員のみなさんを担当区域ごと紹介していますので、地域での悩みごとや心配ごとがありましたらご相談ください。

活動內容

- ▶ 担当区域内の住民の生活状況や福祉ニーズを必要に応じ適切に把握することに努めます。
 - ▶ 援助を必要とする方が自立した日常生活を営むことができるよう相談に応じ、行政等専門機関へつなぎます。
 - ▶ 援助を必要とする方が、適切に福祉サービスを利用できるよう情報提供を行います。
 - ▶ 社会福祉関係機関と連携し、福祉サービス事業に協力します。



竹田	儀助	(小松)
片倉	靜一郎	(小松)
金子	孝子	(小松)
小関	澄	(小松)
大河	原壽男	(小松)
島貫	新一	(小松)
遠藤	秋市	(大塚)
平	忠	(大塚)
小森	猛	(大塚)
大津	孝一	(大塚)
淀野	寛	(大塚)
加藤	勝雄	(中郡)
高橋	建一	(中郡)
鈴木	武五郎	(玉庭)
竹田	浩徳	(東沢)
平	久子	(吉島)
淀野	洋子	(吉島)
大友	和善	(吉島)
以上18名		

長い間お疲れ様でした
～退任委員のご紹介～



大盛況！！「置農祭」



10月17日、18日に「置農祭」を開催しました。1日目は、実行委員が企画したゲームなどを行い、全校生が連携と親睦を深め大いに盛り上りました。2日目は一般公開を行い、クラス企画や演劇部や吹奏楽部の公演、生活部やアグリサイエンス部による展示が印象的でした。また、模擬店では本格的なマレーシアカレーやPTA保護者によるお餅のふるまい等を提供し好評でした。生徒が実習で育てた農産物の販売もを行い、大盛況のうちに幕を閉じました。ご来場くださいました皆様、誠にありがとうございました。

育てた恵みに感謝して～収穫感謝祭～



10月15日に「収穫感謝祭」を行いました。高温や鳥獣害等の影響で例年よりも収穫量が減少しましたが、各部門から収穫した農作物の状況を報告し、それぞれの取組みや成果を共有する貴重な時間になりました。また、生徒や先生方で力を合わせ、野菜部門で栽培したじゃがいもを使ったカレーを作物部門で育てた雪若丸に盛り付け、デザートで果樹部門のりんごをいただきました。置農祭準備期間でもあり、温かいカレーを食べて一層元気が出ました。これからも実習に励み、美味しい野菜や果物を地域の皆様に提供できるように育てていきます。

ニュース

ホッケー部9年連続16回目の 全国選抜大会出場決定！



10月24日～
26日に青森県三沢市において全国高等学校選抜東北予選会に出場し第2位となり、12月20日～24日に岐阜県で開

- 催される全国選抜大会への出場権を獲得しました。
- 今年を締めくくる大会となるので、家族や関係するすべての皆様に「感謝の気持ち」を忘れず、私たちホッケー部のモットーである「あきらめない精神」で最後まで競技してきます。ご声援の程、

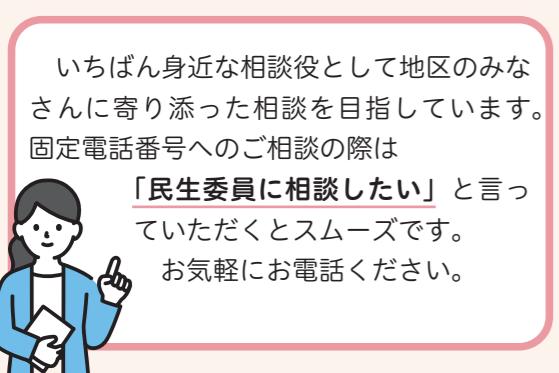
ホッケ一部 部長 食料環境科 3年 橋本 琢磨

バイテク情報普及会主催 「高校生科学教育大賞最優秀賞」受賞



山形県の花であり日本農業遺産に登録された「最上紅花」の新品種開発をテーマとして、私たちはプロジェクト学習に取り組んでいます。その研究が評価され、バイテク情報普及会主催「高校生科学教育大賞最優秀賞」を受賞することができました。持続可能な最上紅花の栽培と植物バイオテクノロジーの理解をますます深め、今後も意欲的に研究に取り組み、プロジェクトを深化させていきます！

農業資源活用科 2 年 長澤 和



主任児童委員

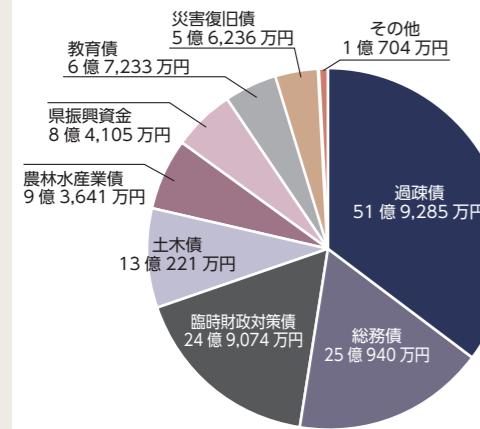


一般会計歳入歳出予算額

151億1,772万円 (前年度からの繰越分を含む)

町債現在高

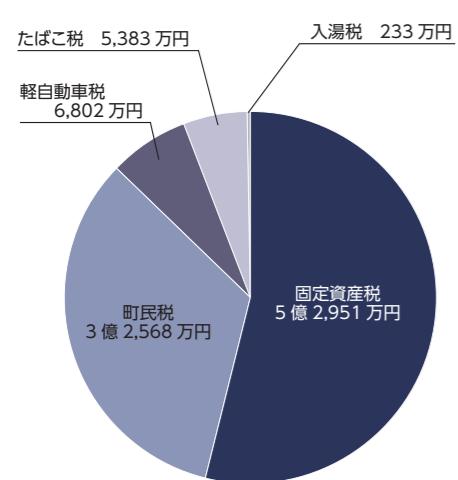
146億1,439万円



各会計町債現在高
水道事業会計 11億5,888万円
下水道事業会計 17億5,721万円
農業集落排水事業会計 2億9,387万円

町税

9億7,937万円



基金

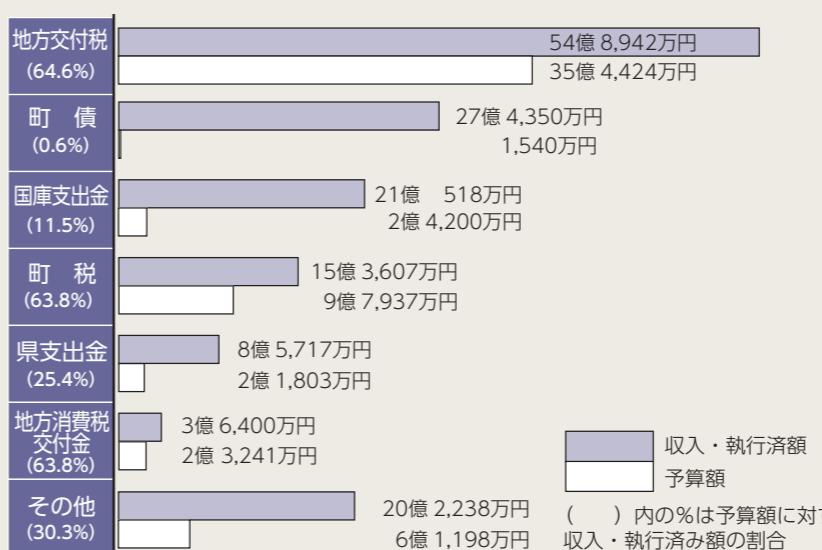
※令和7年3月末日現在高との比較

区分	令和7年9月末現在高	増減
財政調整基金	7億3,637万円	1億4,161万円
町債管理基金	2億5,474万円	8,731万円
国民健康保険給付基金	6,706万円	6万円
ふるさとづくり基金	5,438万円	774万円
本間喜一顕彰基金	3,723万円	△199万円
起業支援基金	2,739万円	△1,728万円
商工業振興資金融資制度基金	760万円	△685万円
子育て支援基金	645万円	△54万円
人材育成交流基金	347万円	△338万円
その他の	2億6,222万円	139万円

公有財産

※令和7年3月末日現在高との比較

区分	令和7年9月末現在	増減
土地	7,671,049m ²	0m ²
建物	92,020m ²	0m ²
有価証券	3,935万円	0円
出資による権利	1億3,068円	100万円



令和7年度 上半期

財政公表

令和7年9月30日現在

みなさんに町の財政状況を理解していただくため、毎年2回、上半期と下半期に分けてお知らせしています。今回は、令和7年9月末現在の状況をお知らせします。通常、町の会計は地方自治法に基づき設けられていますが、特定の事業を行うなど独立性をもつて事業等は、一般会計と区別して特別会計を設けることができます。本町では、

国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療がこれにあたります。本町にはこのほかに、地方公営企業法に基づく水道事業、下水道事業、農業集落排水事業を含めると、全部で7つの会計が設けられています。

企画財政課

☎ 0238(42)6611

町の財政状況をお知らせします

町報 かわにしに広告を 掲載してみませんか

町では、新たな財源を確保し、広報誌の充実をはじめ町民活動への還元を目的に、「町報かわにし」の紙面上に有料広告を掲載しています。

「町報かわにし」は毎月5,000部発行され、町内各世帯に配布されます。また、町ホームページでも見ることができます。



1種広告

- ▶掲載箇所／表紙・裏表紙を除く
ページの下段1段の2分の1
- ▶規 格／縦45mm×横87mm
- ▶掲載料／月額8,000円

2種広告

- ▶掲載箇所／表紙・裏表紙を除く
ページの下段1段
- ▶規 格／縦45mm×横175mm
- ▶掲載料／月額15,000円

広告掲載までの流れ

①申し込み

- ▶掲載希望月の前月15日までに、申込書に広告原稿を添付して企画財政課に提出してください。
メール: koho@town.kawanishi.yamagata.jp
(企画財政課 広報担当)

- ▶申込書は、企画財政課窓口またはホームページからダウンロード可能です。

申込書のダウンロードはこちらから
(町ホームページ)



※ 法令、条例、規則に違反するもの、公序良俗に反するもの、政治・宗教活動、または個人的宣伝に関するものや意見広告など、広告として掲載できない場合があります。詳細は町ホームページをご確認ください。

③広告料の払い込み

- ▶「広告掲載決定通知書」内に掲載されている期限までに、納付書により広告掲載料を払い込んでください。

②審査・決定

- ▶広告掲載基準に従い審査し、掲載の可否を決定します。掲載の場合は、「広告掲載決定通知書」と広告掲載料の納付書を、掲載できない場合は「広告非掲載決定通知書」を送付します。
- ▶広告掲載の優先順位は「国、地方公共団体」「町内事業所」「町外事業所」となります。同一順位内における優先順位は、申込順とさせていただきます。

申込・問合せ先
企画財政課 ☎ 0238(42)6695

道路除雪作業にご理解、ご協力を！

町では、深夜の新積雪が10cm以上となると除雪機械が出動します。

早期除雪は、午前7時30分終了を目指し出動していますが、降雪や積雪状況、除雪ルート等により時間差が生じます。また、近年は朝方に雪が降る傾向があり、除雪後の道路に降り積もる場合もありますので、このような状況についてはご理解願います。

冬期間の出勤やお出かけの際は、時間と心に余裕をもっていただきますようお願いします。



ご理解ください

●除雪オペレーターへの気遣いを

除雪作業は、深夜1時半には準備が

始まり、昼夜を問いません。また、近年、オペレーターのなり手が不足している

中、町民のみなさんの安全な交通確保

に向け、日々頑張っています。

除雪機械を停車させ、オペレーターに直接苦情や要望を訴える事案が発生していますが、そのような行為は大変危険であり、さらに除雪作業の遅延を招き、多くの皆さんに迷惑をかけることがあります。日々、努力されているオペレーターを気遣い、除雪作業の遅延となる除雪機械の停車等の行為は、厳に控えてくださいようお願いします。

また、除雪会社に対して、強い口調で苦情を寄せる事案も発生していますので、このような行為も謹んでくださいようお願いします。

●住宅出入り口に除雪作業の雪が置かれることがあります

通常の除雪作業のほか、気温が上昇し通行しつくくなる雪を取り除く「ザケ取り」作業では、できる限り住宅

入口には雪を置かないよう心がけていますが、機械の能力や降雪状況、また、路面状況や住宅の密集度等により、雪を置かざるを得ない状況があります。どちらも、安全な交通の確保には必要な作業ですので、ご理解とご協力をお願いします。

ご注意ください

●路上駐車・夜間駐車はしない！

除雪作業の妨げとなり、作業全体の遅延を招きます。路上駐車、夜間駐車は絶対にしないようにお願いします。不要不急の外出は避け、外出が事前に予測される場合は早めに用事を済ますか、延期を検討してください。

除雪作業も危険が伴い、除雪機械が出動できない場合もありますので、ご理解ください。

●大雪、強風時はとても危険！

不要不急の外出は避け、外出が事前に予測される場合は早めに用事を済ますか、延期を検討してください。除雪作業も危険が伴い、除雪機械が出動できない場合もありますので、ご理解ください。

ご協力ください

●田畠への砂利対策

除雪作業により、田畠に砂利が入る場合があります。予測される場所には、ブルーシートを敷くなどの対策にご協力をお願いします。

●空き地の利用

集落内の除雪の際には、雪を貯めておく場所が必要となり、確保できません

お道路への雪出しは

お道路への雪出しは、交通安全上、大変危険な行為です。おやめください。

雪出し行為が原因の事故、車両損傷等の責任は、雪出し行為者が負うことになります。

集落内の空き地を利用させていただきますので、ご理解とご協力ををお願いします。また、利用できる土地がありますので、ご理解とご協力ををお願いします。

個人的な要望は、緊急時以外はお受けできません。

●要望は自治会長を通して

●防火施設やごみ収集所等の除雪

ごみ収集所などの除雪は、利用する地域の皆さんで協力して行いましょう。

●要望は自治会長を通して

個人的な要望は、緊急時以外はお受けできません。

道路除雪のお問合せ先

- 国道113号
国土交通省米沢国道維持出張所 ☎ 0238(37)5300
- その他の国道・県道
置賜総合支庁建設部道路計画課 ☎ 0238(26)6080
- 町道
地域整備課 ☎ 0238(42)6647

冬への備えは
万全に！



11/14 第47回全国公民館研究集会東京大会
高橋由和さん優良職員表彰受賞



高橋由和さん（特定非営利活動法人きらりよじまネットワーク理事）が町長に受賞を報告しました。高橋さんは、平成元年から吉島地区公民館の事務局員として努められ、平成21年度にコミュニティセンターへ移行してからは、吉島地区交流センター事務局長に就任、令和7年3月に退任するまで生涯スポーツの推進や地域の活性化に尽力されました。



▲動画はこちら

11/18 令和7年度山形県水産業賞表彰
玉庭水田養魚研究会が受賞



玉庭水田養魚研究会（鈴木孝幸会長）は、本町を代表する郷土料理「むくり鮎」の原料となるフナの生産から加工、販売までを行う6次産業化による付加価値向上に努め、その文化的価値を活用したPRによる普及活動を行ってきました。それらの活動による内水面漁業振興への貢献が評価され、表彰されました。

また、むくり鮎は、文化庁が推進する「100年フード」にも認定され、さらに関心が高まっています。

11/18 カーブミラー贈呈
交通事故防止のために



J A山形おきたま様とJA共済連山形様より、カーブミラー5基寄贈いただきました。この寄贈は昭和48年から毎年続いている、今年で通算320基となります。

贈呈式には、JA山形おきたまの若林英毅代表理事組合長らがご来庁し、茂木町長へ目録をお渡しいただきました。

いただいたカーブミラーは有効に活用させていただき、交通事故防止に役立てていきます。

11/25 川西中学校につや姫を提供
子どもたちの食育のために



J A山形おきたま稲作振興会川西支部様（菅井恒昭支部長）より、川西中学校につや姫が提供されました。11月25日(火)に菅井支部長ら関係者が川西中学校に来校し、矢野斎校長に直接贈呈されました。

川西中学校では、朝食をしっかりとることと食の自立に向けての一歩として、提供された米を生徒たちに配布し、生徒たちは一定期間朝食と昼食のご飯を自分で準備する取り組みを行いました。

11/1 第16回川西町民生活安全推進大会
わたしたちが築く安全安心のまち



生活安全や交通安全にご尽力いただいた方々への表彰をはじめ、防災標語やポスター等の表彰のほか、少年の主張置賜大会に出場した川西中学校3年生の川崎柚菜さん、完戸孝祐さんによる堂々とした主張発表が行われました。

また、元岩手県大槌町職員の佐々木健さんを講師に迎え「震災を忘れない講演会」が開催され、参加者は震災を思い起こし熱心に耳を傾けられていました。

11/11 租税教育推進校への米沢税務署長表彰
大塚小学校へ感謝状



このたび長年にわたり租税教育を推進した功績として米沢税務署より大塚小学校へ感謝状が贈呈されました。

大塚小学校では、租税教室の開催や税に関する絵はがきコンクールへの参加などにより、租税の役割や国民の納税の義務に関する正しい知識の普及が行われてきました。

当日は、野崎博行署長が大塚小学校に訪問し、木村浩登校長に感謝状が贈呈されました。

10/26～11/9 各地区で秋祭り開催
収穫と地域の交流に喜びを



町内7地区で秋祭りが開催され、農産物や芸術作品の展示、物販、餅のふるまい、イベントステージなどが行われました。

吉島地区では、11月9日(日)に「吉島ふれあい祭2025」が開催されました。ステージでは、地区と交流がある慶應義塾大学の「ちょこ健」による健康に役立つ「ちょこ健体操」が披露され、来場者も一緒に体を動かしていました。

11/12・13 国際大会・全国大会出場選手4名に激励金交付
上位大会へ臨む選手たちにエール



△安部そらのさん

ホッケー日本代表として国際大会に出場される小野柊羽さん（山梨学院大学）、齋藤はなみさん（山梨学院大学）、安部そらのさん（川西中学校）へ、全国高校駅伝競走大会に出場される荒木結心さん（山形城北高等学校）へ激励金を交付しました。

なお、小野さんについては、本号裏表紙「Team Kawanishi」にインタビューを掲載しています。ぜひご覧ください。



町立小学校の適正配置に関する検討状況

教育文化課 ☎ 0238(42)6659

「川西町立小学校の適正配置を考える協議会」で協議している内容を報告します。

●少子化以外の学校運営の課題

- ①労働人口の減少に伴い教職員が足りない。小学校を集約して教職員不足に対応したい。
 - ②老朽化の進む学校が多い。小学校を集約して十分な整備を進めたい。
 - ③財政規模に見合った学校数にし、子ども達の将来に向けて財政状況を改善したい。
- 適正配置の検討に向けた指針
- ①現存する校舎を活用するために、児童や教職員の収容人数、予想される学級数と現教室数、建築年度等の条件を考慮する。
 - ②適正配置の複数の方法についてシミュレーションし、教育環境を整備しながらも財政的負担を最小限に留める。
 - ③学級編制については、多人数単学級による学級編制ができる限り避けるとともに、複式学級による学級編制が継続しないようにする。
 - ④開校や閉校には、通常業務に加えた児童への指導や準備への業務が伴うため、学校の通常業務が滞ることのないように準備期間を確保する。

«保護者懇談会の主な質問や意見»

(10月7日(火)～23日(木) 5会場で開催)

将来的には町立小学校1校にすることを目標とする中において、おおむね10年以内に町内5校の小学校を1校ないし2校の配置となるよう検討を進めることについては、「統合は良いと思う」「統合は仕方がない」という意見とともに「統合のスケジュールはどうなるのか」という質問を多くいただきました。



その他にいただいた質問等については、町ホームページをご覧ください。



▲町ホームページ



就学援助費「新入学学用品費」の入学前支給

●対象 令和8年4月に町内の小中学校に入学予定のお子さんの保護者のうち、経済的理由によりお困りで要件に該当する希望者

●支給額 小学校 57,060円
中学校 63,000円

●申込 申請書類に必要事項を記入し、教育文化課まで持参または郵送ください。(町立小学校在籍児童の保護者は小学校に提出ください。)

●申込期間

令和8年1月5日(月)～23日(金)

詳細は町ホームページをご確認ください。

教育文化課 ☎ 0238(42)6659



今月の“まちりあ”

約1年半にわたる工事が完了し、12月上旬に建物の引き渡しを受けました。

現在、来春のオープンへ向け、施設内への備品の整備を進めています。

なお、来年の3月いっぱいまでは外構工事が続きますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



▲町ホームページでも工事の進捗状況をご確認いただけます。

政策推進課 ☎ 0238(42)6604



斎場の年末年始期間中の休場日のお知らせ

年末年始期間中の休場日は、以下のとおりとなります。

●斎場休場日 令和8年1月1日(木)～2日(金)まで
教育文化課 ☎ 0238(42)6618

川西町 Facebook で
町の他の話題もご覧いただけます ▶▶▶

まちの話題

11/25 桜の植樹及び標柱披露式
米沢信用金庫様から桜の寄附

米沢信用金庫様の創業100周年を記念し、川西ダリヤパークゴルフ場に桜15本の寄附・植樹をいただきました。

米沢信用金庫様は、町の指定金融機関として行政運営や中小事業者支援に長年ご協力いただいている。

寄附いただいた桜は、川西ダリヤパークゴルフ場の環境設備として、来訪者の憩いづくりや春の花見シーズンの魅力向上に役立てていきます。

11/25 下小松古墳群の景観維持活動に感謝状贈呈
里山の美しい自然や景色の保全に貢献

令和7年度山形県景観ビューポイントサポーター感謝状贈呈式が行われ、里山と下小松古墳群を守る会に山形県知事から感謝状が贈呈されました。

同会による里山の環境整備や希少な動植物の保護活動、景観保全の尽力等の功績が認められたことによる贈呈です。

感謝状は、県内で4団体に贈呈され、本年度を含め計13団体が選ばれています。

11/28 学校給食に豚肉の提供
地場産のおいしい豚肉を味わう

町内に農場を持つ(有)ピックファーム室岡様から町内の小中学校へ豚肉が提供されました。会社独自のビタミンEやミネラルを多く含んだ飼料を使って、愛情を込めて育てられた豚肉は、やわらかさ、甘さ、脂のバランスが良いおいしいお肉です。

犬川小学校では、給食で豚キムチ丼としてふるまわれ、多くの児童がおいしい豚肉をおかわりし、笑顔があふれる給食の時間となりました。

11/30 川西町ユニホッケー大会
各世代で白熱した試合

市民総合体育館で開催され、午前は小学生の部、午後は一般の部が行われました。小学生、一般の部ともに開催されるのは、コロナ禍以来6年ぶりとなります。

小学生の部では、10チームが参加し、2つのリーグに分かれてそれぞれ総当たり戦が行われました。各チーム日頃の練習の成果を発揮し、白熱した試合となりました。結果は、町ホームページをご覧ください。



▲町ホームページ

羽前小松駅 年末年始の営業時間のお知らせ

- 営業時間を短縮する期日
12月29日(月)～31日(火)
該当期日の営業時間 8時45分～16時30分
- 臨時休業日 1月1日(木)～4日(日)
※ご利用の方は、窓口の営業時間内に切符を購入いただくか、車内や降車駅で運賃・料金をお支払いください。
- 通常営業時間
平日 7時45分～19時00分
土日祝 8時45分～16時30分
※定休日は第2・4日曜日
問羽前小松駅 ☎ 0238(42)2533

上下水道料金 冬期概算通知書について

冬期間（12月から3月）の水道メーター検針については、積雪により検針を行うことができないことから、10月、11月の平均使用水量をもとに算定した概算料金で請求させていただき、翌春の最初の検針で精算させていただいている。

冬期間の料金につきましては、毎年12月中旬に、標記通知書にてお知らせしておりましたが、今年度より、**標記通知書については、希望される方にのみ送付させていただきます。**

送付を希望される方は、お手数をおかけしますが、問合せ先までお問い合わせください。

問地域整備課 ☎ 0238(42)6653

置賜広域行政事務組合 競争入札参加登録申請の受付

- 受付内容
①建設工事、測量・建設コンサルタント業務等（追加申請）
▶受付期間 令和8年2月2日(月)～20日(金)
▶有効期限 令和7・8年度
- ②物品納入・役務提供（定期申請）
▶受付期間 令和8年1月15日(木)～2月5日(木)
▶有効期限 令和8・9・10年度
※上の期間のうち、土曜日、日曜日及び祝日を除く。
※郵送の場合、当日消印有効。
申請方法等詳細は、組合ホームページをご確認ください。

問置賜広域行政事務組合
☎ 0238(26)7488



油流出事故にご注意ください

毎年、一般家庭や事業所のホームタンクから灯油などが漏れ出して、河川に流出する事故が発生しています。その原因のほとんどは、人的ミスによるものです。

●目を離さない・その場を離れない

ホームタンクなどから給油する際は、絶対にその場を離れないようにしましょう。

●定期点検を怠らない

配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。万が一流出があった場合はすぐに連絡してください。

問住民課 ☎ 0238(42)6618
川西消防署 ☎ 0238(42)3700



▲町ホームページ

県営住宅入居者募集

入居を希望される方は、窓口備え付けの申込書をご提出ください。

- 募集内容 県営館之北アパート
- 料金 入居者全員の収入により住宅使用料を算定
- 対象 住宅に困窮している方
- 申込期間 1月9日(金)～16日(金)
9:00～16:30

※土曜日、日曜日、祝日は休館日となります。

●入居時期 3月下旬

問山形県住宅供給公社 置賜地域管理事務所
☎ 0238(24)2332

監査結果のお知らせ

●種類 地方自治法第199条第4項及び川西町監査の執行に関する条例第2条の規定に基づく定例監査

●執行期日及び監査対象課等

10月29日 税務会計課、議会事務局

●監査委員 嶋貫榮次、渡部秀一

●対象事項 対象所管課等の主として令和7年度における財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理に関する事項

●方法 事前に提出を求めた関係書類を確認するとともに、各種申請書類、会計書類等の確認を行い、関係者からの説明を聴取し監査を執行した。

●結果 監査対象事項については、適正に処理されているものと認められる。

問監査委員事務局
☎ 0238(42)6674



▲町ホームページ

自衛官募集のお知らせ

«募集種目 自衛官候補生»

●応募資格 18歳以上33歳未満の男女

●受付期間 随時募集中

●試験日 受付時にお知らせします。

«募集種目 予備自衛官補（一般・技能）»

●応募資格 18歳以上52歳未満の男女（一般）

18歳以上55歳未満の男女（技能）

※保有する資格により異なる

●受付期間 ①令和8年1月下旬から4月上旬まで

②令和8年6月下旬から9月上旬まで

●試験日 受付時にお知らせします。

※詳しくは事務所に問合せ、または下のQRコードよりホームページをご確認ください。

問自衛隊米沢地域事務所
(米沢地方合同庁舎4F)
☎ 0238(23)0011



▲自衛隊米沢地域事務所ホームページ

個人住民税申告の電子化について

個人住民税の申告について、令和8年度分（令和7年中の所得などに対する申告分）から、電子申告が開始されます。

スマートフォンやパソコンで、マイナンバーカードを利用して、eLTAX（エルタックス）（※）から申告手続きが開始される予定（令和8年1月上旬開始予定）です。

※地方税ポータルシステムの呼称で、インターネットを利用して、地方税における手続きを電子的に行うシステムです。

問税務会計課 ☎ 0238(42)6622



▲町ホームページ

年末のし尿汲み取りのお知らせ

年末年始のし尿汲み取りは大変混み合います。

し尿汲み取りは、先着順にて申し込みを受け、順番に汲み取りに伺います。申し込み状況によっては、年内の汲み取りが難しく正月明けの汲み取りとなる場合がありますので、早めのお申し込みをお願いします。

●申込先 し尿収集申込所（尾形興業有限会社内）
☎ 0238(47)2537

問住民課 ☎ 0238(42)6618

令和7年12月15日

令和8年度以降に適用される個人住民税の主な改正点

●給与所得控除の見直し

給与の収入金額が190万円以下の方は、給与所得控除の最低保障額が55万円から65万円に引き上げられます。

なお、給与の収入金額が190万円を超える方の給与所得控除額は、これまでどおり改正はありません。

●各種控除に係る所得要件・控除額の引上げ

各種扶養控除などの適用を受ける場合の所得要件額が10万円引き上げられます。

●大学生年代の子等に関する特別控除（特定親族特別控除）の創設

19歳以上23歳未満の方のうち、合計所得金額が58万円を超える、扶養控除を適用できない方も段階的に控除を受けられるようになります。控除額は、当該親族の合計所得金額に応じて遞減（徐々に減少）します。

問税務会計課 ☎ 0238(42)6622



▲町ホームページ

固定資産（償却資産）の適正な申告をお願いします

農業・商業・建設業などの事業を行い、令和8年1月1日現在、町内で事業に使用する資産（償却資産）を所有している個人および法人の方は、町に資産を申告することが地方税法で義務付けられています。

また、資産の増減がなかった方、廃業された方につきましても、その旨の申告が必要となります。お早めの申告をお願いします。

●申告期限 令和8年2月2日(月)
問税務会計課 ☎ 0238(42)6624



▲町ホームページ

不登校・ひきこもり相談会

専門の相談員が、不登校・ひきこもり状態に関する相談に対応します。ご家族、友人、知人、もちろんご本人からの相談も可能です。どんなさいなことでも構いませんので、ご相談ください。当日は予約優先のご案内となります。

●日時 1月22日(木) 12:00～14:00
●場所 役場1階相談室
●料金 無料
●申込 問合せ先へ電話で申込み
問特定非営利活動法人 With 優
☎ 0238(33)9137



▲町ホームページ

Team Kawanishi Vol.16



叔父の影響からホッケーの世界へ

叔父が日本代表のホッケー選手だったので、よく試合を見に行っていました。気付いたら自分もホッケーを始めていました。

いつまでも向上心を持てる存在

ホッケーは、何年続けても課題を追求でき、向上心を持って取り組むことができます。これがホッケーの好きなところもあります。

一流から感じる言葉の重要性

日本のフル代表の練習にも参加しています。代表の練習では、ミーティングをたくさん行い、プレー やシチュエーションを的確に言葉にすることを重視しています。頭の中でしっかりと理解したうえでプレーをすることが大切です。

▶小野さんが所属する山梨学院大学ホッケー部の情報は、右のQRコードより、公式Instagramアカウントをご覧ください。



小野 栄羽 さん (玉庭地区出身)

Profile

- ▶山梨学院大学3年生 ホッケー部所属
- ▶第74回全日本学生ホッケー選手権大会3位、大会優秀選手に選出
- ▶U21(21歳以下)日本代表選手
- ▶山形県成年男子チームとして国民スポーツ大会に出場

大学でも積極的にコミュニケーションをとって、チーム力の向上を目指しています。

チーム山形で成し遂げた2連覇

国民スポーツ大会に出場するためには、東北の大会で優勝する必要があります。昨年は何とか国民スポーツ大会出場を決めることができました。今年は、東北王者としてチーム初の2年連続出場を成し遂げたいという気持ちと、チームメンバーへの絶対的な信頼を持って大会に臨みました。

日本代表として、地域を盛り上げる人として

日本代表選手として定着し、活躍できるようになります。そのために、今後もスキルや知識を磨いていきます。その後は、川西町に帰り、川西町のホッケーを盛り上げていきたいです。

▶インタビューの完全版はこち
ら
町ホームページでは、インタビューの詳しい
内容をご覧いただけます。



町が行う「ぐんぐん赤ちゃん健康診査」に参加されたお子さんを誕生月の町報かわにしに掲載します。



編集後記

「伝える」って本当に難しいと思います。こう伝えたつもりが、相手は違う解釈をしていた、よくあります。だからこそ、「相手視点になって言葉を選ぶ」とが大切だと思います。本号のTeam Kawanishiでは、ホッケーの日本代表は「的確に言葉にする」とこれを大切にしているとありました。私もこれを大切にしていきたいです。《Y》

— 今月の表紙 —

11月22日(土)に開催された「かわにし福祉ひろば」(社会福祉協議会主催)でスタッフとして活動した「川西町YYボランティアサークル」のみなさんです。サークルのみなさんは、主に赤い羽根共同募金やフードドライブ、レモネードスタンドの受け付けを行いました。レモネードスタンドでは、小児がんの治療を支援するため、売り上げの一部が山形大学医学部へ寄附されました。

